

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年4月7日		令和7年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年4月12日		令和7年4月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	令和7年4月12日		令和7年4月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4 (回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放デイの迎えに保護者に来ていただくことにより、毎利用時、日々の相談に応じることが出来ている。そのため、他施設への不安感などについても吐き出してくれることが多く、保護者の心身の安定に繋がったり、関係性の修復にも貢献できたりすることがある。	・保護者対応についての研修の実施 ・利用日次の日の振り返り会議の実施	
2	・色々な職種の人材がそろっている。 ・各々の専門性を活かした提案ができる。	・所内の研修を職員全員が、主導で主催している。 ・利用者の特徴を踏まえた上で、日々の活動の企画を個人で考え、提案する力がある。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問員が少ない。子どもの事を知り、分析したり支援したりする力はあっても、基準に満たない。	・限られた訪問員が、訪問していない職員に適切に情報提供し、個々の力量を上げていく。	
2	・学校からの情報（意向・意見・提案など）を入手しにくい。	・真摯に対応していくしかない。	
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス　くま五郎		公表日			令和7年5月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 ・ 整 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	5				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	4	・配置人数が少ないと思われる。 ・勿論資格としての経験年数も必要だが、児童指導員としての経験や知識が優れている職員が訪問できないのが残念である。 ・訪問員に基準があり、偏りがある。	・法改正をしなければ、基準についてはクリアできない。 ・訪問員が「どんな人」よりも、学校が「門は開かれた」が、「一緒に○○していこう」に未だ至っていない、ことの方が問題であると思う。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3	・全職員が周知し、改善点が生かされていないように思う。	・所内で、訪問の成果を発信し、今まで以上に情報共有を密にして行きたいと思う。 ・職員全員が発言していく。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3	・訪問員以外からの職員から意見がないので、どんな支援が必要かを聞くようにしたい。	・訪問員以外の職員への、本事業に対する知識を深める研修を行い、訪問しなくても意見が出せるようにしていきたい。 ・業務改善会議等で話し合い改善していく。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	2		・定期的に行っているので継続したい。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	11	0				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	・全職員の共通理解が必要だと思う。	・所内で、ケース検討会など、研修を深めていきたい。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	5	・訪問先の担任と支援についての話が少しでもできるとよい。（間接的なやり取りにとどまってしまった）	・訪問先の担任の意向を伝えてもらえるような工夫をしていきたい。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2	・できている部分もあるが、足りていないところも多いと思う。	・訪問回数を増やしていきたい。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	7				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	8	3		・支援計画を確認し、情報を共有している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	・連携がもっと必要だと思う。	・訪問後のこちらからの記録等に対する学校からのご意見等がないので、積極的に打診していきたい。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・共有はできていると思う。が全職員から意見が聞かれないので、発言する人が増え、充実した振り返りができるとよい。	・所内で、誰しもが発言できる会議になるような会議のあり方を考えていきたい。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	5				
関 係 機 関 や 保	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	10	0				
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	3	・訪問先の意向の確認が難しい。 ・「定期的に」が難しいのかと思う。	・訪問先からの意向がなかなか本所に伝わってこないで、連携方法について、担任との意思疎通をもっと図っていきたい。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	6	・連携できている機関とそうでない機関がある。			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5				
保	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	8	2				

護 者 と の 連 携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	8	・積極的に進めていきたいがどうしたらよいのか。 ・参加できる機会があればもっと参加すべきだと思う。	・積極的に参画していく方向でいる。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		・本所まで迎えに来ていただくことで、じっくりと話が出来ているので、継続していきたい。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	3		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	・保護者会への参加が増え、保護者同士の交流の場がより良い機会になっていくとよい。 ・兄弟同士の機会はない。 ・年に1回の保護者会はあるが、その他の交流の機会はなかなかない。	・保護者が参加できる企画を考えていきたい。 ・現時点では、兄弟同士の交流の予定はない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	2		・放デイについては通信やインスタ等に挙げているが、本事業については個人情報を利用者だけでなく、学校の他児にも影響があるので、考えていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	5	・紙面では助言等記入しているが、訪問先がどう考えているのかが分からない。	・積極的にご意見を伺っていきたい。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	8	・紙面では助言等記入しているが、訪問先がどう考えているのかが分からない。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	3		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		
非 常 時 等 の 対 応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	5	・年に1、2回の訪問のため、信頼関係を築くことが出来ない。	・保護者の思いと担任との思いに隔たりがあるので、間に立つのが難しい。そのため訪問回数が少ないままになってしまうので、改善方法を探していきたいが…
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	・避難訓練だけでなく、記載の訓練も必要だと思う。マニュアルを見るだけでは起こってしまった時動けない可能性大	・職員だけの導線訓練を実施していきたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	4	・安全管理の対応も上記同様全職員が対応できるか？ ・リスク管理は不十分と感じることが多い。	・訓練の実施を考えていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	3	・ヒヤリハットを書くだけで、一施設全体の検討にはつながっていない。保育所等訪問でのヒヤリハット特記事項はない。 ・検討はしているが、再発する事案があり、次へ活かしていない。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1		